

津市放課後児童クラブの現状と課題について

1 市町村合併後の放課後児童クラブの経緯等

平成18年の市町村合併後時における津市の放課後児童クラブ数は、35クラブで、以後、小学校区単位でのクラブの開設を目標に継続した取組を行ってきました。

平成24年8月からは、毎年、津市学童保育連絡協議会と懇談会を開催し、また、積極的に各クラブへ出向き、課題の把握に努めてまいりました。

その結果、平成29年3月に新設された安濃町の「すぐりんクラブ」は、公民館を借り受ける地元の理解を得て共同保育を始め、地域と行政が協働で問題解決に当たり、保育施設を新設しました。

また、「観音寺どんぐり会」は、平成29年4月、附属小学校の敷地内に津市が建物を新築し、クラブを移転することを三重大学と合意しました。国立大学法人与自治体と保護者主体の運営組織3者が協調して放課後児童クラブを設置運営する全国初の試みであり、平成31年度の開設を目指しています。

2 放課後児童クラブの現状

平成29年4月1日現在、クラブの施設数は55クラブあり、内45クラブは公設民営方式、10クラブは民設民営方式です。公設民営方式は、保護者等の運営委員会が運営を行い、民設民営方式は、NPO法人や社会福祉法人が運営を行っています。

なお、校区にクラブを有しない小学校区が9校区、うち（バス等による）送迎支援のある校区が3校区、未設置校区は6校区となっています。

3 クラブ訪問から見えてきた諸課題

(1) 運営における課題

① 運営に係る保護者の負担軽減

- ・ 運営マニュアルを作成してほしい。
- ・ 学校との連携を支援してほしい。
- ・ 会計等の事務が煩雑である。労務士・会計士の支援がほしい。

② 放課後児童支援員等の確保

- ・ 支援員等の募集について支援してほしい。
- ・ 大学等への依頼等について支援してほしい。
- ・ 登録制などの求人方法を考えてほしい。

③ 放課後児童支援員等の資質向上

- ・ 特別な支援を必要とする児童への対応方法を教えてほしい。
- ・ 児童の発達段階に応じた理解が必要であり、学ぶ機会がほしい。

(2) 施設における課題

① 施設の改修整備

- ・ 人数増による狭あい化への対応や老朽化への対応を考えてほしい。
- ・ 利用児童が急増した場合は、仮施設での緊急対応も考えてほしい。

② 施設修繕

- ・ トイレ改修、雨漏り修繕、扉・鍵修理等を行ってほしい。
- ・ 扇風機設置、蛍光灯の飛散防止、空調施設改修等を行ってほしい。

4 課題に対する今後の対応

(1) 運営における課題

カテゴリ	課題	今後の対応等
運営委員会	運営に係る保護者の負担軽減	クラブの運営マニュアルを作成するとともに、会計事務等を支援できる体制づくりに努めます。また、諸課題に対し、学校と協働した対応に努め、保護者に対する負担の軽減を図ります。
支援員等	放課後児童支援員等の確保	広報津やホームページ等を活用するとともに、校長会の協力を得て、支援員等の確保に向けた取組を進めます。
	放課後児童支援員等の資質向上	行政研修等で特別支援教育及び児童の指導についての研修を行い、放課後児童支援員等の資質向上を図ります。

(2) 施設における課題

カテゴリ	課題	今後の対応等
施設修繕	施設修繕の必要性	対象になるクラブと十分な協議を行い、緊急性・必要性等の状況を勘案して、適切な対応を進めます。
改修整備	専用区画面積の確保 老朽化	平成 29 年 1 月 25 日に策定された津市公共施設等総合管理計画に基づく放課後児童クラブに係る整備指針により計画的に改修整備を進めます。
	未設置校区への設置	地域の要望を踏まえた保護者等の運営委員会の状況を把握し、放課後児童クラブの設置を基本としつつ、放課後子供教室の新設等、今後の体制づくりに適切に対応します。